

# 第4回 矢作川流域治水協議会の開催

近年の激甚化・頻発化する水害に備え、矢作川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進することを目的として、「矢作川流域治水協議会」を適宜開催しています。

今回「第4回 矢作川流域治水協議会」を開催し、関係者の取り組み内容を相互に確認すると共に、「矢作川水系流域治水プロジェクト」を策定し、今後の「流域治水」に向けて意見を頂きました。

## 【開催概要】

日時：令和3年3月26日（金）

13：30 - 14：30

会場：WEB開催

## 【主な議事】

- ・ 矢作川流域治水協議会規約の改定について
- ・ 「矢作川水系流域治水プロジェクト」の策定について

協議会開催状況（WEB）



## 【主な意見】

- ・ 矢作川流域治水協議会規約の改定案が決議されました。「矢作川水系流域治水プロジェクト」が承認され、策定されました。
- ・ 岡崎市：水害から暮らしを守る強靱な都市づくりを目標に、雨水ポンプ場・下水道・農業用ため池の整備、止水版設置補助、矢作川避難計画の策定等、様々な対策を進めていく。
- ・ 碧南市：国が整備を進めている防災拠点に関しては、水防活動拠点や一時避難所となるため、市として積極的に事業推進の協力をしていく。
- ・ 豊田市：特定都市河川浸水被害対策法等の改正に伴い、是非、矢作川の特定都市河川への指定をお願いしたい。  
着実な対策の推進を図ることを目指し、マイタイムラインの策定等の治水対策を進めていく。
- ・ 安城市：農業者の協力を得て、「水田貯留」を始め、自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用する「グリーンインフラ」の取組を通して、持続可能でより水害に強いまちづくりを推進する。
- ・ 西尾市：内水による被害の発生頻度が高いため、排水機による事前放流や雨水ポンプ場の耐水化による排水機能の確保により、被害を最小限にする対策を実施していく。
- ・ 幸田町：引き続き風水害ハザードマップ等の利用による避難情報の周知に力を入れていく。
- ・ 中部電力(株)：関係機関との連絡体制、情報共有体制の構築を進めていく。
- ・ 林野庁中部森林管理所：森林の有する水源涵養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図ることにより、流域治水対策を推進していく。